

第20回 2025.11.27

通算3534号 2025.12.4発行

会長挨拶

佐藤修郎 会長



皆様、こんにちは。今日の卓話は、大ゴッホ展について語って頂くということで、西RC所属、福島民報新聞社の関根さんがゲストとしてお越し頂いております。先日、学友会の集まりに行って参りました。次々と誕生が出てきてお話なさるんですが、「アルバイトとかをやらないですむことになったお陰で、私の生活は一変した。本当に感謝している」というようなお話がございました。米山というの全部事業活動はしていなくて、ロータリー会員の寄付で賄われている活動ですので、これはやはり協力していかないといけないなということを私自身も感じて参りました。皆様もどうぞ宜しくお願ひ致します。

新会員紹介

高橋裕一君



新会員の辻雅彦さんをご紹介します。職業分類は不動産売買です。昭和50年7月7日生まれ、安積高校、法政大学を卒業されています。ご家族は奥様、お嬢様がお二人、息子さんがお一人、趣味はゴルフと音楽です。

新入会員挨拶

(株)藤栄地所 代表取締役
辻 雅彦君

歴史と伝統あるこの郡山RCに入会のご承認を頂きまして、誠にありがとうございます。会社としては創業33年で、3年前に代表を引き継ぎました。青木マネジメントの取締役も務めております。皆様から色々なご助言を頂きながら地域に貢献していきたいと思っております。今後とも宜しくお願ひ致します。

所 属 親睦活動委員会

推薦人 林 誠君、高橋裕一君

幹事報告

幕田宙晃 幹事



湯浅大郎さんのお母様のお別れの会について、湯浅さんから御礼のお手紙が来ております。例会変更はありません。

親睦活動委員会報告

山口 仁 委員長



12月11日のクリスマス家族会が迫って参りました。皆さんからの協賛で成り立っていますので宜しくお願ひします。出欠も出してない方がいらっしゃいましたら、そちらもお願ひできればと思います。

学友in福島出席報告 高橋孝行君



11月22日(土)に学友in福島に参加をさせて頂きました。インター・アクトクラブや青少年交流学生、米山奨学生或いはローター・アクトクラブそれぞれの活動報告ということで、出席したのは150名ぐらいでした。大変皆さんが感謝していました。アルバイトをしないで済む、勉学に勤しむことができたというお話を頂きました。当日、その報告会と各国の美味しい手作り料理を皆さんで食べました。夜には学友委員の懇親会を行いました。

ニコニコBOX委員会報告

阿部充正 副委員長



◎福島民報社関根様、ゴッホ展のお話し楽しみです。ありがとうございます。新会員、辻さん入会ありがとうございます。 佐藤修郎君

◎本日もお忙しい中、例会に多くのメンバーにご参加頂きありがとうございます。新会員の辻さんの入会を歓迎して！ 幕田宙晃君

◎福島民報社関根様の卓話、楽しみです。

前田泰彦君、菅野秀士君、山口 仁君

湯浅大郎君

◎福島民報社関根様、大きな仕事お疲れ様です！飲み過ぎないようですね。 高橋孝行君

◎本日も宜しく！

幕田宙晃君

◎阿部充宏さん、安全運転管理郡山事業主会の新会長就任おめでとうございます。 ヒマナスターズメンバー一同

◎今日も元気で出席です。 林 誠君

阿部充正君

◎福島民報社関根様、卓話楽しみです。

辻さん、今日から頑張って下さい。

プログラム紹介 平栗俊昭 委員長



本日は福島民報社取締役郡山本社代表 大ゴッホ展担当 大ゴッホ展福島展実行委員会事務局長を務めていらっしゃいます関根英樹様です。関根さんは郡山西RCの会員でもいらっしゃいます。宜しくお願ひ致します。

ゲスト卓話

「大ゴッホ展 福島開催の奇跡」

福島民報社取締役郡山本社代表 大ゴッホ展担当
大ゴッホ展福島展 実行委員会事務局長 関根英樹氏

今回のゴッホ展は福島民報社・福島県・福島市・全てのテレビ局及びラジオ局が入っており、福島を挙げてのゴッホ展になっております。国内最大級のゴッホ展が福島県立美術館で開催されます。世界中で大人気の画家フィンセント・ファン・ゴッホの最高傑作

を含む自筆の油彩80点、デッサン約40点が2回に渡って福島で鑑賞できるという奇跡のような展覧会です。来年2月から始まりまして、福島日程のこの展覧会を見逃せば一生の不覚とさえ言えます。



フィンセント・ファン・ゴッホは1853年生まれ、オランダポスト印象派の画家で、大胆な色彩と独特的な筆致で炎の画家とも呼ばれ映画なども出来ております。浮世絵を好んで、その影響を受けた作品が数多くあり、日本人がゴッホ好きなのも浮世絵の影響を感じるからだという話もあります。宗教家の父と祖父がおりまして、自分も宗教家を目指していましたが、昔の進学校に入るのが非常に難しく挫折しました。その中で絵の世界に入って行くという形があります。最終的に精神を病んでしまったと言われていますが、画家というのは天才と狂気は紙一重と言われるぐらいなので、そういうところも加味しながら世界中が愛する作品を残していくたんじやないかと思います。作品の多くはフランス居住時代のアルル時代と、サンレミでの療養時代で構成されて20世紀の美術に大きな影響を及ぼしました。今回2回に渡ってやる展覧会の第一段階はアルル時代まで。2回目は再来年6月から、まるで違うゴッホの絵が約40点来ます。それはアルル以降で皆さんよく知っている明るい絵は再来年の方が沢山来ると思います。今回ゴッホの作品を借りて来るのがクレーラーミュラー美術館というところです。これはオランダにある美術館で、実業家のクレーラーミュラーとその夫人のコレクションをもとに1938年に開設されております。フィンセント・ファン・ゴッホのコレクションでは世界トップレベルで、その規模は現在アムステルダムに国立のゴッホ美術館が出来たので、そちらに色々な資料が入っているので、そちらの方が行きやすいということで皆さんには行くんですが、作品はクレーラーミュラー美術館の方が沢山あります。270点ぐらい美術館に所蔵されています。84年に民営化され、国の大きな支援を受けております。

今回クレーラーミュラー美術館が改築することになりました。美術館の作品というのは、改築をしない限りは大量に出ることはできません。クレーラーミュラーが全面改築をするということで、その設計を安藤忠雄さんがやるということを日本のシンジケートが掴み、世界中の取りあいの中で日本が勝って、日本に来ることになりました。日本では1958年に大ファンゴッホ展というのが開かれました。これは戦後復興という名目の下、開催されました。その時はクレーラーから来た油彩56点、素描70点で、当時の保険金額で15億円です。東京国立博物館と京都博物館で1ヶ月やり、90万人

が来ました。

県誕生150年、東日本大震災及び原発事故から15年の締めの年に福島県立美術館でゴッホ展を開くことによって、福島の復興を世界中にアピールしたいというのと、福島の県民を元気にしたいという思いがクレーラーに届き、福島でやれるようになりました。今現在は神戸でやっています。神戸は震災から30年です。神戸、福島、最後に上野の3カ所でしかやりません。神戸と福島は震災復興という大きな目的があって、その意味合いがあるからクレーラーは貸してくれるということになりました。神戸では40日ぐらいで20万人を超えていました。恐らくこのゴッホの絵を見るために東南アジアからも来るだろうし、みんなに来て貰い原発から立ち上がっている様子を見て、しっかりと伝えて頂きたいというのが大きな目的になっております。更にこの絵を持って来る最大の功労者は福島県立医大で、福島で今まで震災後フェルメール展とか若冲展をやっているんですが、実はこれは全部医大が絡んでいます。絵というのは非常に放射能に弱い。その放射能に弱い世界的名画が福島に来ることで、世界中に福島は安全だというのを知らせたいという医学的見地もあり、それでフェルメール展や若冲展も福島でやることができます。今回その流れを汲んでやっておりまして、これをアートセラピーという学術的な研究、絵を見ることによって人の心はどのように安らぐのか、それが健康にどう影響するかというのまで研究しようと考えて医大も一緒に取り組んでおります。会期は来年2月21日～5月10日、再来年の6月19日～9月26日です。ゴッホ以外にもモネやマネ、ルノアールの絵が10数点来ます。2回目はピカソの絵も来ます。本物を子供に見せたいので、高校生以下は無料にしています。子供達に本物を見ることによって未来へ繋げたいという思いがあり、高校生以下は全部無料にしました。但し県内在住に限ります。多彩な関連イベントを今やっています。12月7日には小説家の原田マハさんの講演会を開きますが、そのチケットは2時間で満杯になりました。あとはディスティネーションキャンペーンと重なるということで、JRが本格的にやってくれようとしています。ゴッホ展の音声ガイドは綾瀬はるかさんがやってくれています。皆さん、是非見て下さい。

出席報告

丸山 弘 委員長

総員／109名 出席／53名 欠席／56名

出席率／48.62% 前回修正率／45.54%

他クラブ出席／1名



株式会社 花ふじ

代表取締役 伊藤 基文

〒963-8002 郡山市駅前2-1-2
TEL 024-932-6029 FAX 024-933-3770

有限会社 伊野積善社

代表取締役 伊野 泰司

〒963-8878 郡山市堤下町8-1
TEL 024-932-0134 FAX 024-932-0058

国際ロータリー2530地区 郡山ロータリークラブ

会長：佐藤 修朗 幹事：幕田 宙晃
例会場：郡山ビューホテルアネックス TEL 024-939-1111
例会日：木曜日
事務所：〒963-8001 郡山市大町1-2-17 大ビル1階
TEL 024-923-0729 FAX 024-939-5678

郡山ロータリークラブウェブサイトはこちらから
<http://k-rc.main.jp/>



次回 第22回例会
令和7年12月11日(木)

編集責任者：幕田 宙晃
副委員長：大谷 宏明



FSC® 森林認証紙使用

クリスマス家族会
郡山ビューホテルアネックス

編集：クラブ会報委員会 委員長：酒井 良胤
委員：綾 哲志・伊藤 基文・八角 洋



環境に配慮した
グリーンプリント
イング認証
工場で生産して
います。



見やすく読み
まちがえにくい
ユニバーサル
デザインフォント
を採用しています。